

あんてい しゅうろう せいかつ めざす がいどぶっく
「安定した就労と生活を目指すためのガイドブック」

しゅうろうていちゃくし えんじぎょうしょ りょう かたむけ
-就労定着支援事業所を利用する方向け-

つき
<ふりがな付き>



＜このガイドブックの内容＞

1. 就労定着支援ってなんだろう……………3
 - 「働きつつける」ためのサポート
 - 仕事と生活、地域もふくめたサポート
2. 就労定着支援のながれ……………4
 - 就職から最初の6か月間
 - 就職して6か月後からの支援
3. 就労定着支援は「安心して働きつつけるための準備期間」……………5
 - 自分に合った働き方を見つけるために
4. 安心して長く働くためのサポート(就労定着支援)……………5
 - 安定して働きつつけるために大切なこと
 - 仕事と生活のバランスをとる
 - 自信を持って働けるように
 - 生活のサポートについて
 - 地域での楽しみや活動も大切に
5. より良い支援を受けるために大切なポイント……………7
 - Point 1: ふだんの様子を「見えるように」する
 - Point 2: いろんな人とつながる「ネットワーク支援」
 - Point 3: 自分のゴールを考える「こころの準備」

6. 働きつづけるために大切なこと(仕事に必要な力)……………10

- 前向きに取り組む力
- 一歩ふみ出す力
- 考える力
- チームで働く力

7. 安心して働き続けるための「支援計画」と「支援レポート」……………11

- 支援計画とは？
- 月に1回の面談について
- 支援レポートとは？

8. 安定した就労生活を実現するためのチェックリスト……………12

- 6つの大切なポイント
- やさしい日本語版チェックリスト

9. 安定した就労生活を実現するためのリソースマップ……………17

本ガイドブックは、令和6年度厚生労働省科学研究費((23GC1010)「質の高い就労定着支援のためのマニュアルに関する研究」の成果物の一部です。

1. 就労定着支援ってなんだろう

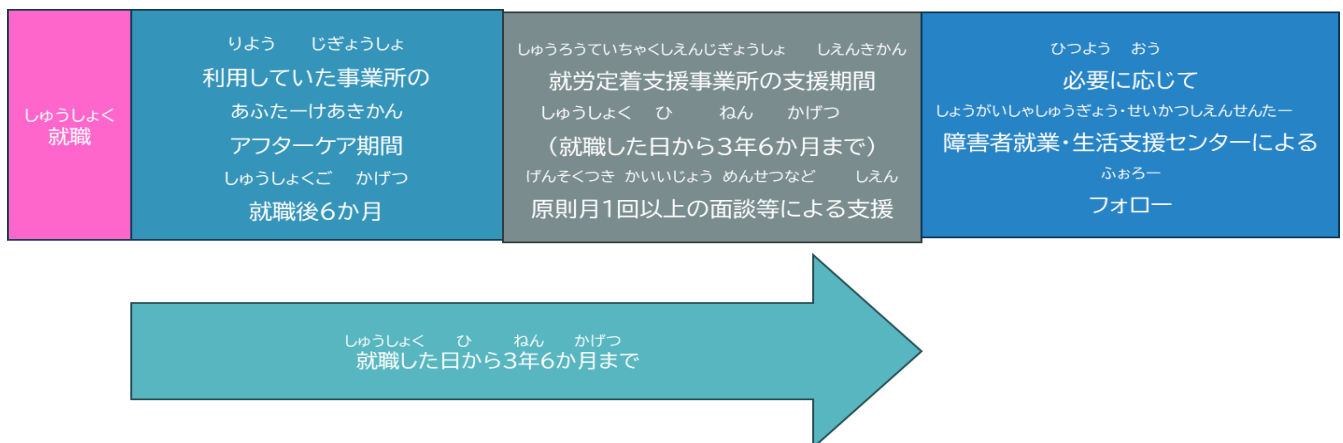
(1) みなさんが「働きつづける」ためのサポートです

就労定着支援(しゅうろうていちゃくしえん)は、みなさんが「この仕事を続けたい」「自分らしく働けている」と感じられるようにサポートする制度です。

サポートの目的は、「がんばって無理に続けさせる」ことではなくて、仕事や生活のなかで困ったことがあったときも、自分らしく前向きに働きつづけることができるようにお手伝いすることです。

みなさんが悩んだときには、一緒に働く会社の人や、支援してくれる人たちが協力して「どうすればよくなるか？」を一緒に考えていけるような関係をつくっていきます。

就労定着支援事業所では、みなさんが就職してから6か月後～最長3年間、支援を受けることができます。



(2) 日常生活もふくめてサポートします

働き続けるためには、仕事だけでなく「日々の生活」や「地域での暮らし」も大切です。

就労定着支援事業所では、みなさんの周りにある地域のサポート(たとえば病院や福祉のサービスなど)ともつながって、必要なときに必要な支援が受けられるようにお手伝いします。

みなさんが「自分らしく働けるようにしたい」と思ったとき、仕事・生活・地域のそれぞれの面からサポートすることで、安心して働きつづけられるようにします。

また、地域の中にあるいろいろな支援の仕組みや場所が、おたがいに繋がって協力しあえるように、就労定着支援事業所も働きかけていきます。

2. 就労定着支援のながれ

(1) 最初の6か月間

みなさんが会社に就職したあと、最初の6か月は、とくに大切な時期です。新しい環境に慣れたり、仕事に合わせた生活リズムを整えたりする必要があります。

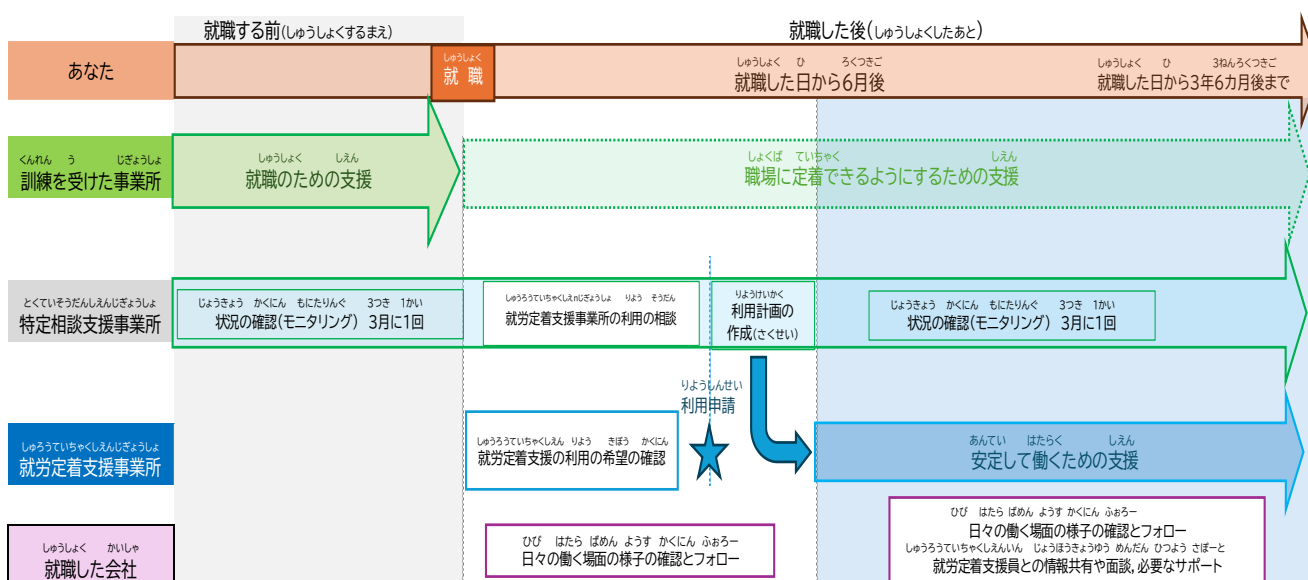
この期間は、就職する前に利用していた事業所(たとえば、就労移行支援事業所など)が中心になって、仕事や生活のサポートをしてくれます。会社とのやりとりも手伝ってくれます。

※利用していた事業所によって、支援のしかたや義務の程度は少し違います。

(2) 就職して6か月後から

就職し6か月がすぎたあとは、「就労定着支援事業所」を利用することができます。ここでは、最長3年間、みなさんが「特別な支援がなくても、自分の力で働きつづけられる」ようにお手伝いしていきます。

みなさんのペースや希望に合わせて、必要なサポートを受けながら、仕事を続けられるように支えていきます。



3. 就労定着支援の期間は、「安心して働きつづけるための準備期間」

この支援を活用することで、自分に合った働き方を見つけたり、将来のキャリアについて考えたりすることができます。あなたらしい働き方と、ゆたかな人生をつくっていくための一歩として、支援を上手に使ってください。

4. 安心して長く働くためのサポート(就労定着支援)

(1) 安定して働きつづけるために

就労定着支援は、みなさんが働く会社や日々の生活に少しずつ慣れていき、自分らしく、安心して働きつづけられるようにサポートする制度です。

この支援では、次のようなことを目指します：

- ① 仕事や生活のリズムが安定すること
- ② 気持ちが落ち着いて、自分に自信が持てること
- ③ 困ったときに「助けてほしい」と伝える力をつけること
- ④ 将来の生活や働き方を考えるきっかけをつくること

支援が終わったあとも、必要に応じて相談できるような「つながり」を大切にしています。

(2) 「仕事のこと」と「生活のこと」のバランスが大事です

安心して働きつづけるためには、仕事のことだけでなく、生活のことでも大事です。

たとえばこんなこともサポートの対象になります：

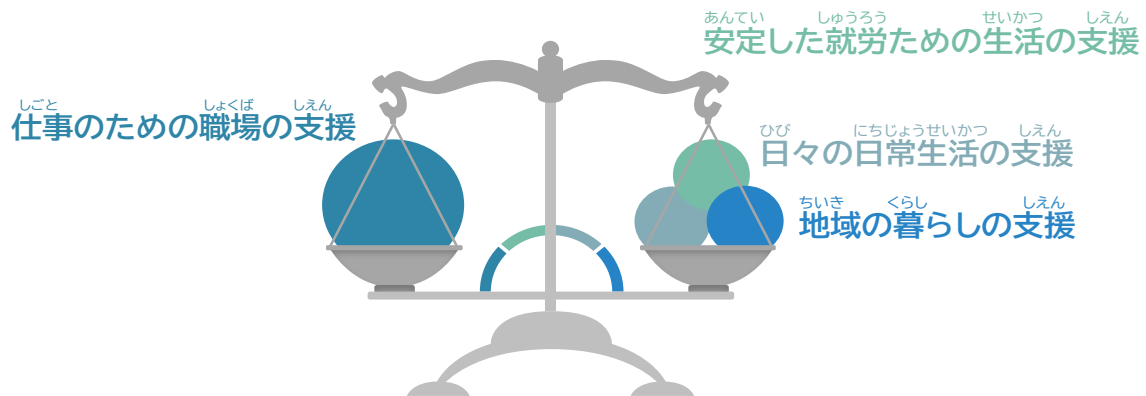
一人暮らしでの生活の安定

グループホームの職員やヘルパーさんとの情報共有

訪問看護師さんとの連携

仕事がうまくいっていても、生活が不安定だと疲れがたまりやすくなるので、「仕事と生活のバランス」が大切です。

安心して働きつづけるための 仕事と生活のバランス



(3) 自信を持って働けるようになるために

仕事をしていると、うまくいかないことや失敗もあると思います。

そんなときに「自分はダメだな」と思わないように、あなたががんばっていることや、できていることを支援者がきちんと見て、声をかけていきます。

「できることを自信に変える」ことがとても大切です。

(4) 生活のサポートもあります

生活面では、次のようなことを一緒に考えたり、支援したりします：

- ・ 朝起きる時間や、寝る時間などの生活リズム
- ・ ごはんを食べる、シャワーをあびるなどの習慣
- ・ お金の使い方(家賃・光熱費・おこづかいの管理)
- ・ 家族や友達との関係
- ・ 病院に行くこと、薬をのむこと

支援が必要な場合は、地域のサービス(ホームヘルパー、訪問看護、社会福祉協議会など)とつないで、一緒に生活を支えていきます。

(5) 地域での楽しみや活動も大切です

働くだけではなく、「休みの日に楽しくすごせること」もとても大切です。

たとえば：

サークル活動やボランティア

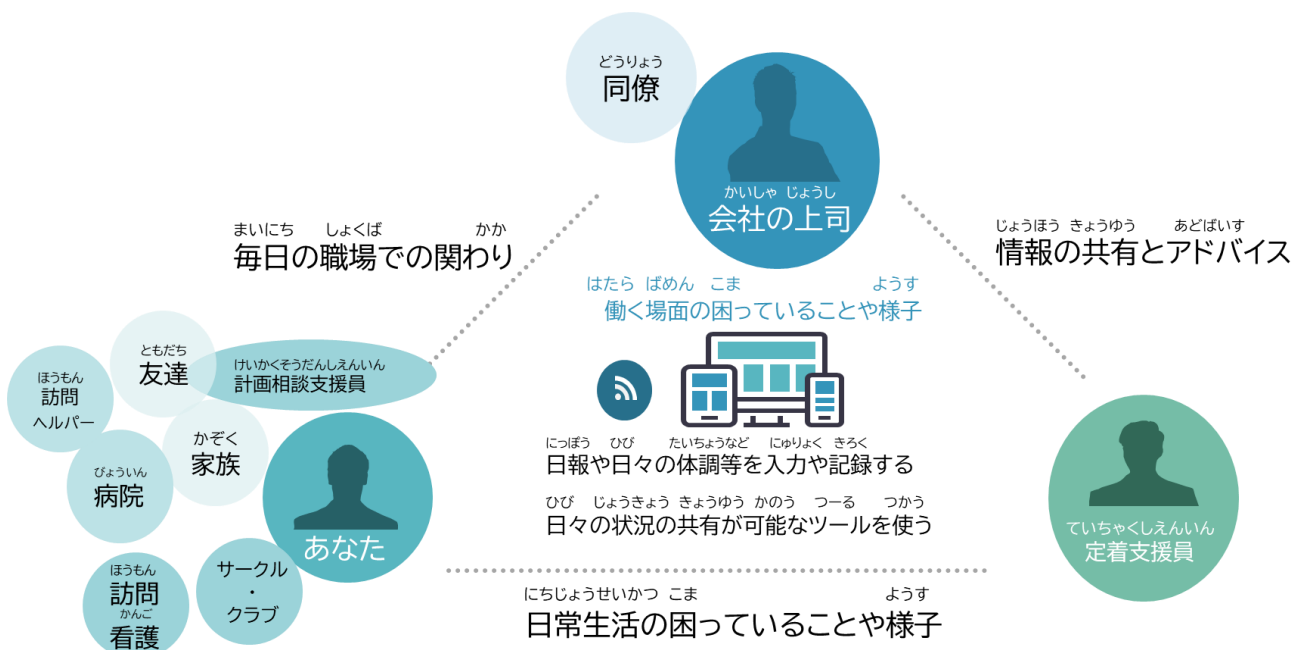
地域のイベント

趣味を楽しむグループ

こうした活動など、何か休日の過ごし方を充実させることも大切になります。また、年金のことやお金の管理についても、心配な場合には、就労定着支援事業所の方に相談すると必要に応じて専門の相談機関につないでもらえます。

5. より良い支援を受けるために大切なポイント

(1) Point 1: ふだんの様子を「見えるように」すること



みなさんの仕事や生活がうまくいっているかを知るためには、月に1回くらいの面談だけでは足りないこともあります。でも、毎日だれかが来てくれるわけではないので、ふだんの様子をどうやって支援者に

つたえる だいじ
伝えるかが大事になります。

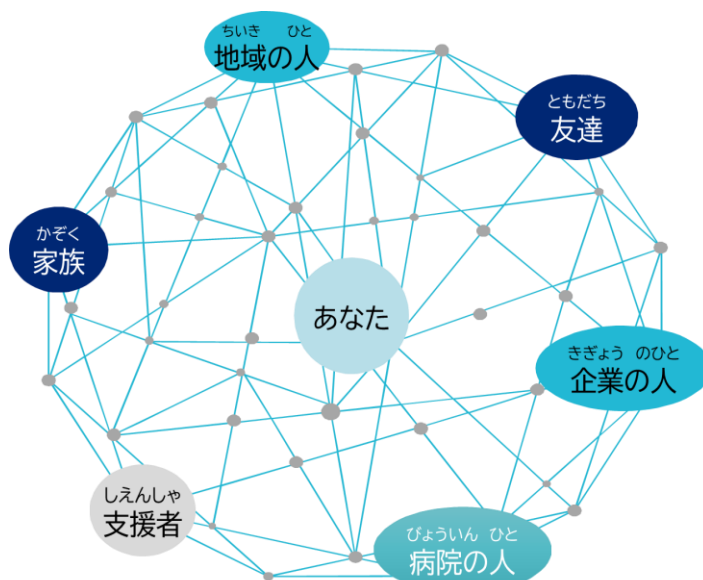
たとえば、こんな方法があります：

その日の気分や仕事のことを、スマホやパソコンで入力する、「日報(につぽう)」を書く

その情報を、会社の人や支援者が見ることができるようにする

こうすると、「今日は元気そうだな」とか「少し疲れているのかな？」といったことがわかって、支援が必要
なときにすぐに動けるようになります。

(2) Point 2: いろいろな人とつながる「ネットワーク支援」



安定して働きつづけるためには、自分のまわりにいろいろな人たちがチームのようにつながっていることが
大切です。

このネットワークには、たとえば次のような人たちが入っています

職場の上司や同僚など、会社の中の人

就労定着支援事業所のスタッフや、以前かかわった福祉の支援者

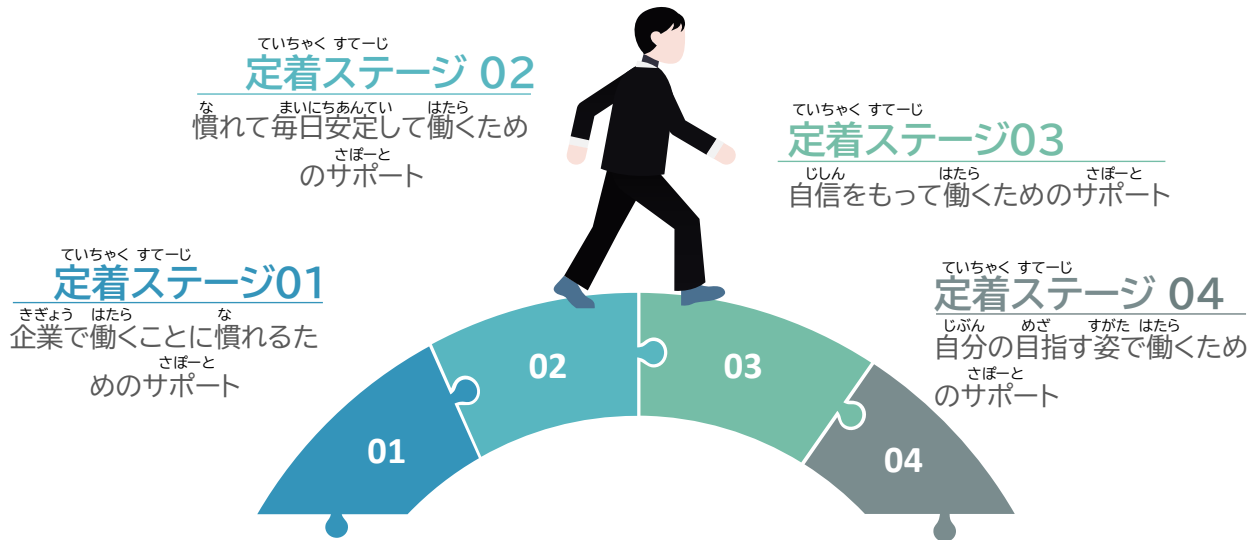
訪問看護やお医者さんなど、医療の人たち

地域でつながっている人たち(趣味の活動や地域のサポート)

就労定着支援事業所は、このネットワークをつなぐ「ハブ」のような役割を持っています。

あなたの今の様子や、これから変わっていくニーズに合わせて、いろいろな支援をつないでくれます。

(3) Point 3: 自分のゴールを考える「こころの準備」



しゅうろうていちゃくしえん 就労定着支援は、ただ「見守ってもらうだけ」のサービスではありません。

この支援を受けることで、最終的にはあなたが自分の力で自信をもって仕事を続けられるようになることを目指しています。支援が始まったら、支援者や会社の人たちと一緒に、「3年後、自分はどうなっていたか？」というイメージを話し合っておくことが大切です。

たとえば…

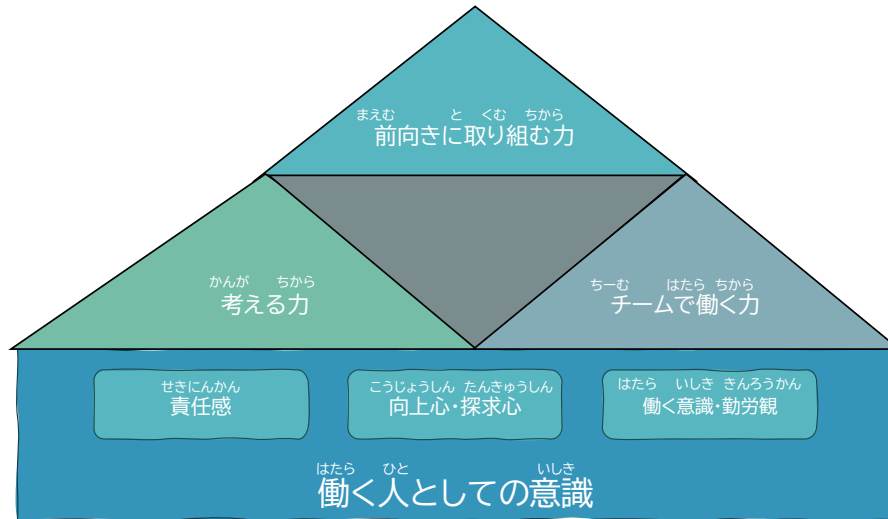
どんなふうに働いていたい？

どんなことに困りそう？

どうすれば乗り越えられそう？

こうした話を最初にしっかり共有しておくことで、あなたにとって意味のある支援ができるようになります。

6. 働きつづけるために大切なこと(仕事に必要な力)



仕事を続けるためには、いくつかの「力」が大切になります。全部できる必要はありません。自分の得意なところ、苦手なところを知っておくことが大切です。

・前向きに取り組む力

働くことに対して「がんばってみたい」と思えること、自分の役割を考える気持ち

一歩心み出す力、やってみようと動いてみる力、周りの人にも声をかけられる力、計画して行動できる

力

・考える力

問題に気づいたり、どうすればいいか考えたり、アイデアを出す力

・チームで働く力

自分の気持ちを伝える力、人の話を聞く力、まわりの人と協力できる力、ルールを守る力、ストレスと

つき合う力

もし苦手なところがあれば、「どうすればサポートしてもらいやすいか」を一緒に考えることができます。

あなたが職場で安心して長く働き続けるために、支援者は「支援計画」や「支援レポート」というものをつくり、あなたの希望や困りごとに合わせて、どんなサポートが必要かをはっきりさせるためのものです。

7. 安心して働き続けるために大切な「支援計画」と「支援レポート」について

(1) 支援計画とは？

「支援計画」は、あなたが安心して働けるようにするためのサポートの計画です。たとえば、今のお仕事の内容や、職場の様子、健康のこと、生活のことなど、あなたに関わる情報を整理して、どんなふうに支えていくかをまとめます。

この計画は、少なくとも半年に1回は見直して、必要があれば内容を変えます。

また、あなたやご家族、関係する支援機関にも説明し、みんなで情報を共有します。

(2) 月に1回の面談

あなたと支援者は、月に1回以上は直接会って話をしたり、オンライン(テレビ電話など)で面談したりします。画面越しの面談でも、あなたの表情や様子が分かるようにし、お互いに話し合えることが大切です。オンラインが苦手な場合は、無理のない方法を一緒に考えましょう。

(3) 支援レポートとは？

「支援レポート」は、月に1回以上、あなたがどんなサポートを受けたかをまとめた報告書です。

支援計画	支援レポート
就労定着支援サービスをうける期間のためのサポートの計画です。	月に1回以上、どのようなサポートを受けたか、まとめた報告書です。
半年に1回は見直して、必要があれば変更します。	あなたも内容を確認して、あなたの希望を確認しながら、会社の担当者の方にも共有することがあります。

そこには、

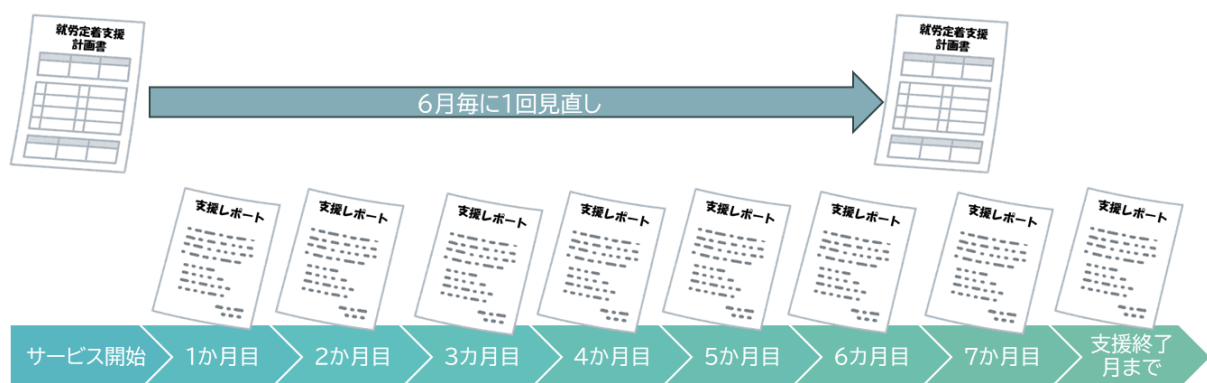
・^{こんげつ}今月の^{さぽーと}サポートの^{もくひょう}目標

・^{じっさい}実際に^{しえん}どんな支援をしたか

・^{けっか}その結果どうだったか

・^{らいげつ}来月に向けての^{むけて}サポートの^{さぽーと}方向性^{ほうこうせい}などが書かれます。^か内容はあなたにも^{かれます}確認してもらい、^{ひつよう}必要があれば一緒に話し合いながら^{しゅうせい}修正していきます。

この^{れぽーと}レポートは、あなたの^{ぷらいばシー}プライバシーに配慮しながら、あなた自身や^{かいしゃ}会社、^{たんどう}担当の方とも共有することがあります。これは、^{かいしゃ}会社があなたに^{あつた}合ったサポートを^{かんがえる}考えるためにも役立つ大事な^{じょうほう}情報です。^{かいしゃ}会社と^{しえんしゃ}支援者が協力して、あなたの^{きょうりよく}働きやすさを一緒に考えていけるようにすることが^{もくひょう}目標です。



8. ^{あんてい}安定した^{しゅうろうせい}就労生活を^{じつげん}実現するための^{ちえっくりす}チェックリスト

^{あせすめんと}アセスメントで見る大切な^みポイントがあります。この^{ぽいんと}ポイントは、① ^{まえむき}前向きに働いているかどうか(あなた^{はたらきかた}の働き方や^{きもち}気持ちについて)、② ^{からだ}体の^{ちょうし}調子・^{けんこう}健康が安定しているか、③ ^{しごと}仕事の中で^{なか}困っていないか(業務^{ぎょうむ}の安定)、④ ^{あんてい}職場に満足できているか(職場^{しよくば}への^{きもち}気持ち)、⑤ ^{かいしゃ}会社の人から見たあなたの^{ひと}評価、⑥ ^{しよくば}職場のサポートがあるかどうかの6つです。

この6つの大切な^{たいせつ}ポイントを^{ぽいんと}確認してみしましょう。あなたにとって、^き気になる内容などがあったら、あなたの^{しえんしゃ}支援者の人と^{ひと}話しを^{はなし}してみしましょう。

① 前向きに働けているかどうか(あなたの働き方や気持ちについて)

あなたが「これからも働きたい」と思っているか、「仕事楽しい」と思っているかが大切です。次のようなことをふり返ります:

しょうらい もくひょう ゆめ
将来の目標や夢がある

しごと たのしめて
仕事を楽しめている

じぶん しょうらい まえむき かんがえられる
自分や将来を前向きに考えられる

きゅうじつ り らっくす
休日にリラックスできている

かぞく ちいき かんけいがよい
家族や地域との関係がよい

しごと いっしょう とりくんで
仕事に一生けんめい取り組んでいる

② 体の調子・健康が安定しているか

しごと つづける からだ ころも げんき ひつよう
仕事を続けるには、体と心の元気が必要です。たとえば:

よくねむれて
よく眠れている

おくすり びょういん りよう あんてい ひつよう
お薬や病院の利用が安定している(または必要ない)

しょくじ
食事がちゃんととれている

つかれて やすめばかいふく
疲れても休めば回復できる

③ 仕事の中で困っていないか(業務の安定)

しょくば ひと
職場の人とうまくやれている

ちこく けつぎん
遅刻や欠勤がない

しごと とりくみかた あんてい
仕事の取り組み方が安定している

にんげんかんけい ふあん
人間関係に不安がない

④ 職場に満足できているか(職場への気持ち)

おきゅうりょう はたらきかた ふまん
お給料や働き方に不満がない

つうきん す と れ す
通勤にストレスがない

し ふ と きんむじかん こまっ て
シフトや勤務時間に困っていない

⑤ 会社の人から見たあなたの評価

じょうし しごと よい おもっ て
上司が「仕事のしかたが良い」と思っている

じょうし き おもっ て
上司が「やる気がある」と思っている

じょうし せきにんかん かんじ て
上司が「責任感がある」と感じている

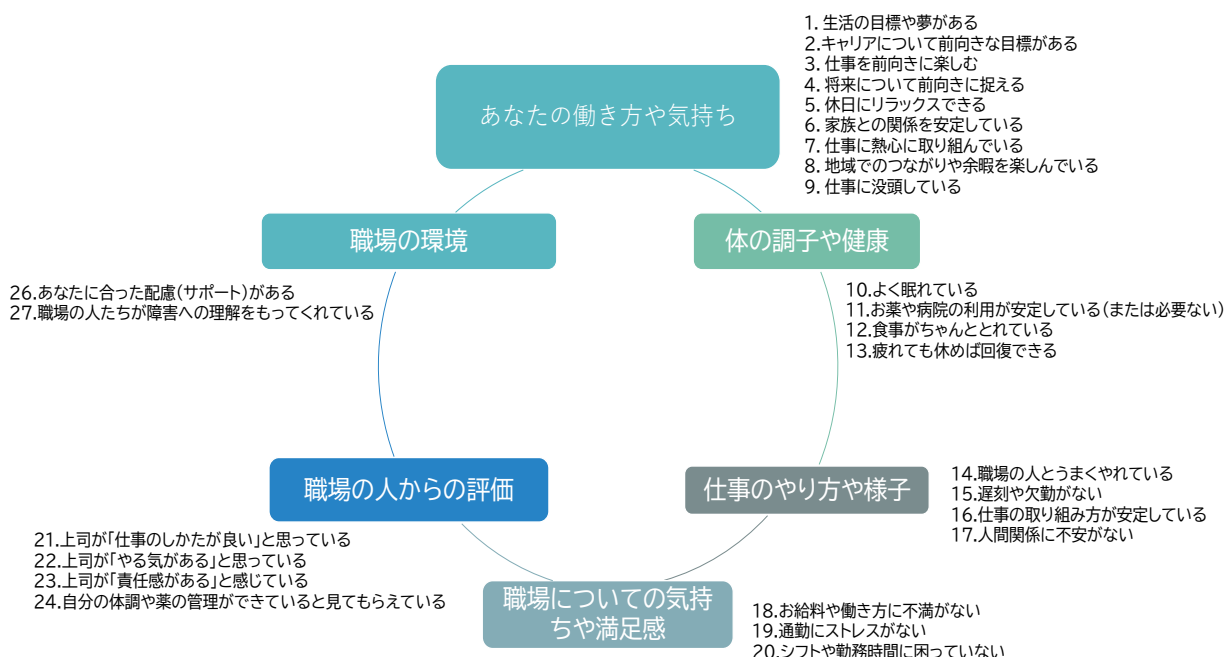
じぶん たいちよう くすり かんり み て
自分の体調や薬の管理ができていると見てもらえている

⑥ 職場のサポートがあるかどうか

あな た はいりょ さぽー と
あなたに合った配慮(サポート)がある

しょうば ひと しょうがい りかい
職場の人たちが障害への理解をもってくれている

安定的な就労生活のために大切なこと



○安定した就労と生活を実現するためのチェックリスト

I. あなたの働き方や気持ちについて	
1. 生活の目標や夢があると思いますか？	☐
2. 将来のことや、今後の仕事について目標を持っていますか？	☐
3. 仕事をするのが楽しいと思いますか？	☐
4. 自分の将来について前向きに考えていますか？	☐
5. 休みの日にリラックスできていますか？	☐
6. 家族といい関係が作れていますか？	☐
7. 仕事に一生懸命取り組んでいますか？	☐
8. 地域の人とのつながりや、自由な時間を楽しんでいますか？	☐
9. 仕事に夢中になっていますか？	☐
II. 体の調子について	
10. よく眠れていますか？	☐
11. 病院や薬を飲むことなどの状態が安定していますか？	☐
12. ごはんをしっかり食べていますか？	☐
13. 疲れても、すぐに元気になれますか？	☐
III. 仕事のやり方について	
14. 仕事場で、他の人と仲良くできていますか？	☐
15. 決められた時間を守って仕事をしていますか？	☐
16. 仕事時の態度について問題はありますか？	☐
17. 他の人との関係で不安を感じていませんか？	☐
IV. 職場についての気持ち	
18. 給料や待遇に満足していますか？	☐
19. 仕事の時間やシフトに不満はありませんか？	☐
20. 職場までの通勤で不安や困難を感じていませんか？	☐
V. 上司からの評価について	
21. 上司があなたの仕事態度を良いと思っていますか？	☐
22. 上司があなたの仕事への熱心さを良いと思っていますか？	☐
23. 上司があなたの責任感を良いと思っていますか？	☐
24. 上司があなたの体調管理を良いと思っていますか？	☐
25. 上司があなたの仕事の仕上がりを良いと思っていますか？	☐
VI. 職場の環境について	
26. 職場のサポートは十分だと思いますか？	☐
27. 障害のある人に対する理解が十分だと思いますか？	☐

copyright©aYamaguchiLab2024

このようなアセスメント(チェック)を通して、あなたが「今、どんなサポートが必要か？」「何がうまくいっているか？」を見えるようにしていきます。困ったときに早めに支援を受けられるように、そしてあなたらしく働きつづけられるように、一緒に考えていきましょう。

○安定した就労と生活を実現するためのチェックリスト
<やさしい日本語版>

I. みなさんの元気な気持ちとお仕事のやる気について	
1. 生活の中で「こうしたい」「こんな夢がある」と思うことがありますか？	☐
2. 自分の将来やお仕事について「こうなりたい」と考えていますか？	☐
3. お仕事をするのが楽しいと思いますか？	☐
4. 自分の未来について「きっと大丈夫」と思っていますか？	☐
5. お休みの日にリラックスできる時間を過ごせていますか？	☐
6. 家族との関係はよいと思いますか？	☐
7. お仕事に一生けんめいがんばれていますか？	☐
8. 地域の人とつながったり、自由時間を楽しめていますか？	☐
9. お仕事に夢中になれることがありますか？	☐
II. あなたの健康について	
10. よく眠れていますか？	☐
11. 病院に行くことやお薬を飲むことで問題はないですか？	☐
12. ごはんをちゃんと食べられていますか？	☐
13. 疲れたときにしっかり元気を取り戻せていますか？	☐
III. お仕事の様子について	
14. 職場で人と話したりすることで問題はないですか？	☐
15. 職場のきまりを守って働いていますか？	☐
16. 職場での態度について注意されることはありませんか？	☐
17. 職場で人と話すときに不安を感じたりしていませんか？	☐
IV. お仕事への満足感について	
18. お仕事のお給料などに不満を感じていませんか？	☐
19. 働く時間やシフトに不満を感じていませんか？	☐
20. 職場に通うときに不安や困ったことはありませんか？	☐
V. 職場の人からの評価について	
21. 上司から「がんばっているね」と言われていますか？	☐
22. 上司から「お仕事にやる気があるね」とほめられていますか？	☐
23. 上司から「責任感があるね」と言われていますか？	☐
24. 上司から「体調やお薬の管理ができているね」と言われていますか？	☐
25. 上司から「お仕事をしっかりやっているね」とほめられていますか？	☐
VI. 職場の環境について	
26. 職場で自分にあったサポートをしてもらっていますか？	☐
27. 職場の人たちは、障害がある人のことを理解してくれていますか？	☐

copyright©aYamaguchiLab2024

9. 安定した就労と生活を実現するためのリソースマップ

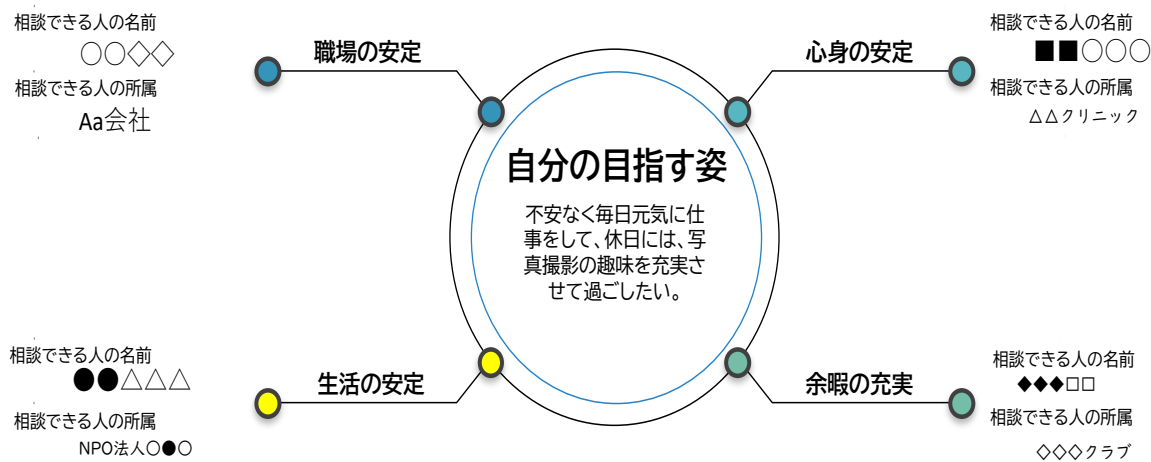


図 安定した就労と生活のためのリソースマップシート記入例

(1) サービスが終わったあとの「わたしの目標」を考えてみましょう

就労定着支援のサービスが終わったあとも、安心してはたらきつづけるために、これからの「わたしの目標」や「大切にしたいこと」を考えてみましょう。

(2) どんなことを大切にしたいですか？

つぎのようなことについて、自分にとって「大事だな」と思うことをかんがえて、書いてみましょう。

- はたらく場所が安定していること(職場のこと)
- 気持ちや体が元気でいられること(こころとからだのこと)
- ふだんの生活が落ち着いていること(生活のこと)
- 休みの日を楽しくすごせること(余暇のこと)

(3) だれが助けてくれるかも書いてみましょう

あなたの周りには、いろいろな支援^{しえん}をしてくれる人^{ひと}がいます。

たとえば：

- ・ 就労^{しゅうろう}定着^{ていちゃく}支援^{しえん}事業^{じぎょう}所^{しょ}のスタッフ^{すたっふ}
- ・ 会社^{かいしゃ}で相談^{そうだん}できる人^{ひと}(上司^{じょうし}・先輩^{せんぱい} など)
- ・ 相談^{そうだん}支援^{しえん}専門^{せんもん}員^{いん}(そうだんしえんせんもんいん)
- ・ ヘルパー^{へるぱー}さん、医療^{いりょう}の人^{ひと}(びょういん・看護師^{かんごし}さん など)

「この人^{ひと}にはこんなとき相談^{そうだん}できる！」というメモ^{めも}としてリソースマップ^{りそーすまっぷ}をつくっておくと、あとで見返^{みかえ}すときにととても役立^{やくだち}ちます。

(4) 困^{こまった}ったときのための「リソースマップ」をつくろう

サービス^{さーびす}が終^{おわ}ったあとも、こま^こまったり、なや^なんだりするところがあるかもしれません。

そんなときは、あなたが書^かいた「リソースマップ^{りそーすまっぷ}(支^さえてくれる人^{ひと}の地^ち図^ず)」を見て、相談^みして、相談^{そうだん}してみましょう。

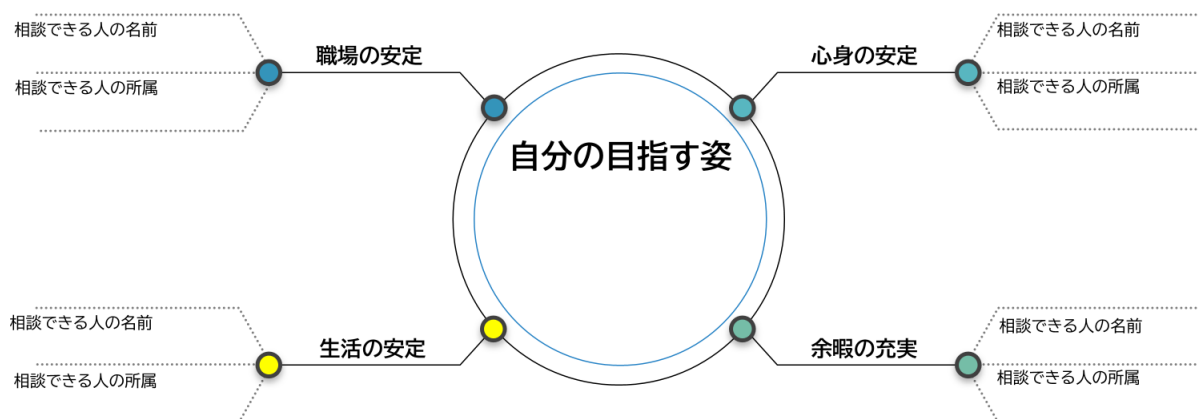


図 安定した就労と生活のためのリソースマップシート

しゅうろうていちゃくしえんじぎょうしょ サービス利用を 終了した後に、あなたが 目指す姿 について、就労定着支援

事業所の担当者の方や会社の相談できる方と対話をしてみましょう。

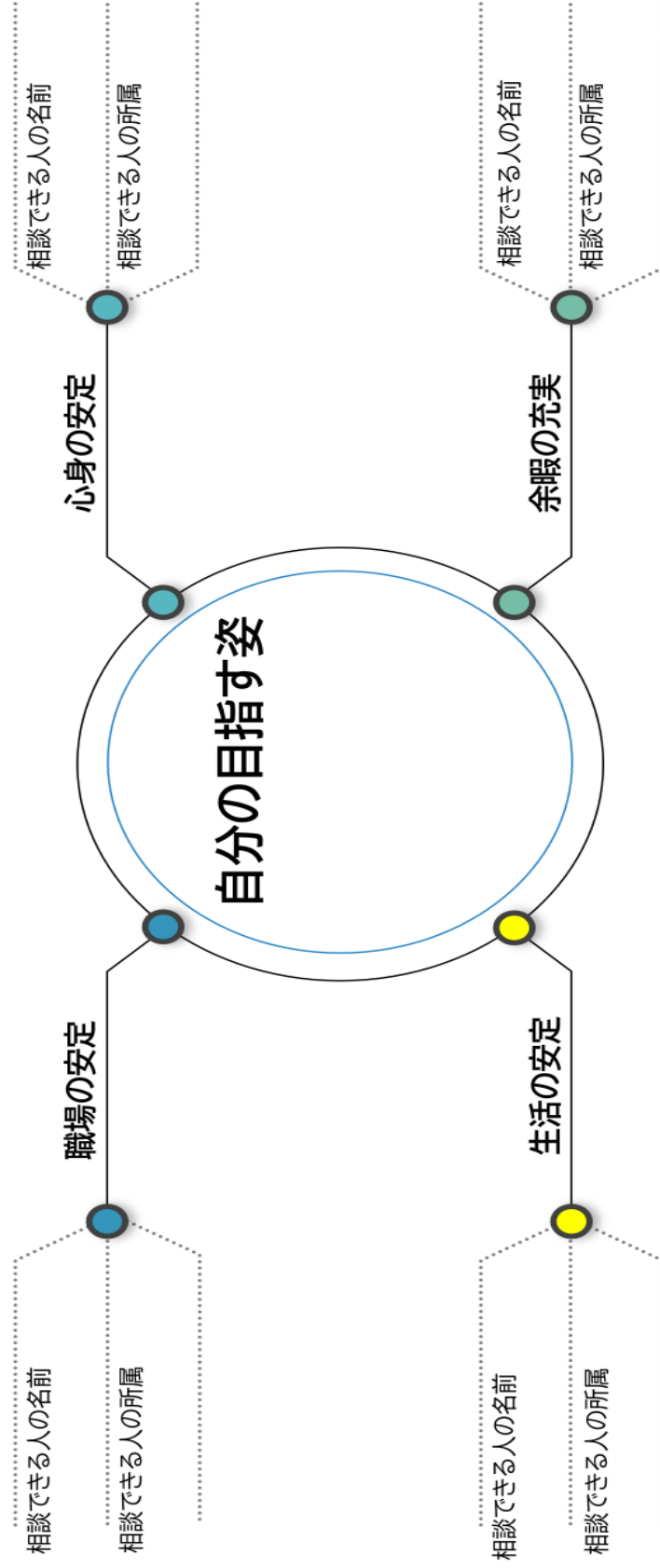
職場の安定、心身の安定、生活の安定、余暇の充実としてあなたにとって大切なことを記入し、それを

サポートしてくれる支援機関や担当者の名前などを記入してみましょう。

サービス終了後にも、困ることや悩むことが出てきた場合には、このリソースマップを見返して、相談して

みましょう。





安定した就労生活のためのリソースマップシート



執筆者一覧

- 研究代表者 山 口 明乙香(高松大学)
- 研究分担者 八重田 淳 (筑波大学)
- 島 村 聡 (沖縄大学)
- 前 原 和 明(秋田大学)
- 若 林 功 (国際医療福祉大学)
- 野 崎 智 仁(国際医療福祉大学)
- 縄 岡 好 晴(明星大学)
- 藤 川 真 由(東北大学病院)
- 清 野 絵 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所)
- 池 田 浩 之 (兵庫教育大学)

○就労定着支援のためのプラットフォーム

みんなの質の高い就労定着支援: <https://retentionforall.org/>



本マニュアルの公開及び質の高い就労定着支援のためのオンラインセミナーの視聴などが可能になっています。また安定した就労と生活を実現するためのチェックツールやその使い方などのガイドブックを公開しています。



令和6年度厚生労働省科学研究費((23GC1010)「質の高い就労定着支援のためのマニュアルに関する研究」の成果物です。

このマニュアルは、障害者に対する「質の高い就労定着支援を実現する」のために作成されています。「質の高い就労定着支援」が実現できている状態は、「“本人”、“企業”、“支援者”の三者がそれぞれ大きな不安を抱えることなく、本人が安定した就労および生活を継続できしており、仮に問題が生じた場合でも、三者が協働してその解決に取り組めるという相互の信頼関係が構築されている状態」です。このマニュアルは、この質の高い就労定着支援を実現するための大切なポイントを整理し、就労定着支援に関わる支援者向け、障害者を雇用している企業担当者向け、計画相談支援に関わる支援者向け、就労定着支援を利用する本人向けの4つのパートから構成されています。

このマニュアルが、国内の多くの当事者の方の「働く」を実現し、自分らしい人生やキャリアを切り拓くことを支えるためのアイデアや工夫、支援者間の連携を充実させることに貢献できることを願っています。

研究代表者 山口明乙香

<本マニュアルの構成>

○はじめに

○就労定着支援に関わる支援者のためのマニュアル

○就労定着支援の計画相談に関わる支援者のためのマニュアル

○障害者を雇用している企業担当者向け「質の高い就労定着支援を目指すためのガイドブック」

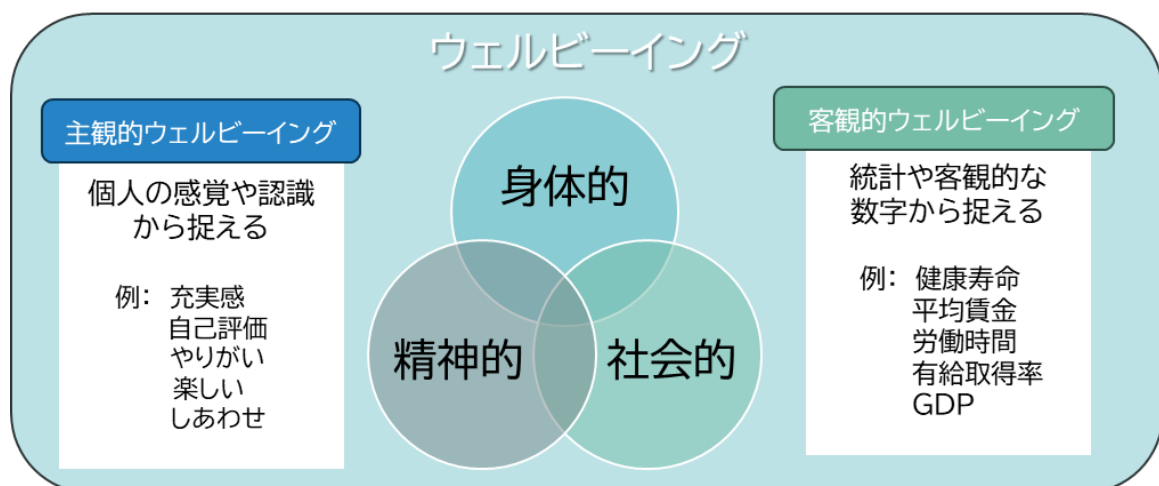
○就労定着支援を利用する本人のためのガイドブック

○ はじめに

<障害のある人の「働く」を支えるうえで大切なこと>

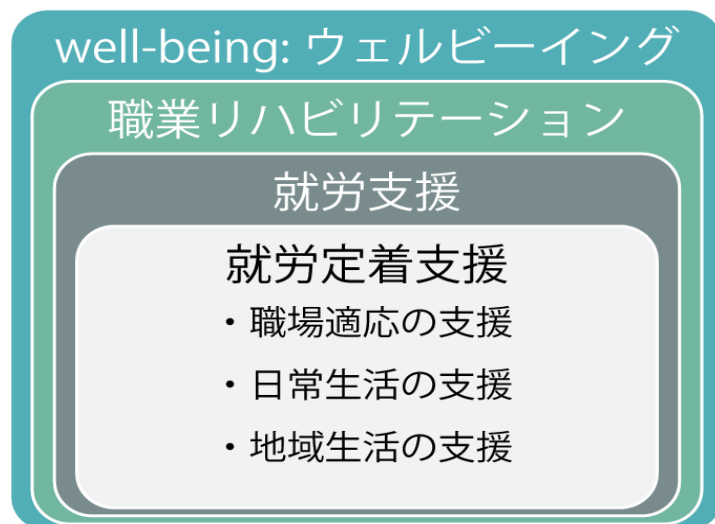
皆さんは Well-being(以下、ウェルビーイング)という言葉は、ご存じでしょうか。ウェルビーイングとは、「身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念」、「多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念」とされています(文部科学省,2023)。厚生労働省(2019)も、ウェルビーイングを「個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念」として説明しており、労働に関わる文脈におけるウェルビーイングは、「働き方を労働者が主体的に選択できる環境整備の推進・雇用条件の改善等を通じて、労働者が自ら望む生き方に沿った豊かで健康的な職業人生を送れるようになることにより、自らの権利や自己実現が保障され、働きがいを持ち、身体的、精神的、社会的に良好な状態になること」とされています。内閣府(2024)は、このウェルビーイングの観点を多面的に把握し、政策運営に活かす目的から「満足度・生活の質に関する調査」を実施しており、2019年から毎年その報告書が公開されています。

ウェルビーイングには、健康寿命や平均賃金や有給取得率などの統計や客観的な数字から捉えることができるウェルビーイングと充実感や自己評価ややりがいや幸福など個人の感覚や認識から捉える主観的なウェルビーイングによって構成されています。ウェルビーイングにおいてはこの客観的なウェルビーイングと主観的なウェルビーイングの両側面から捉え、一人ひとりが障害の有無や様々な背景の違いに関係なく、より自分らしく、自分らしさを発揮できるより良い状態を目指し、それをサポートできる社会の構築が求められているところです。



<Well-being と職業リハビリテーション, 就労支援, 就労定着支援の位置づけ>

ウェルビーイングと職業リハビリテーション、就労支援、就労定着支援の位置づけはどのようになっているのでしょうか。日本の職業リハビリテーションは、障害をもっているが故に職業に就くことが困難になっていたり、維持していくことが難しくなっていたりする人にも、職業を通じた社会参加と自己実現、経済的自立の機会を作り出していく取り組みです(日本職業リハビリテーション学会, 2024)。国内法では、「障害者の雇用の促進等に関する法律(昭和 35 年法律第 123 号)」第2条第7号において、職業リハビリテーションを、「障害者に対して職業指導、職業訓練、職業紹介その他この法律に定める措置を講じ、その職業生活における自立を図ること」と定義されています。また、国際労働機関(ILO)の「第 159 号条約(障害者の職業リハビリテーション及び雇用に関する条約)」では、職業リハビリテーションの目的を、「障害者が適当な職業に就き、これを継続し及びその職業において向上することを可能にし、それにより障害者の社会における統合又は再統合の促進を図ること」とされています。国内では、この職業リハビリテーションの取り組みの一連の就職に向けた訓練とその公的サービスを含め就労支援として整理されています。その中で、障害福祉サービスにおける就労支援は、その対象者の希望や現状、アセスメント結果等を踏まえ、必要な取り組みや支援を検討した上で、例えば、最大 2 年の間で一般就労ができるように就労移行支援を行う、または、生産活動の機会を提供しつつ、一般就労に必要な知識・能力の向上を図る就労継続支援 A 型・B 型を行うなどにより実施しています。特にこうした期間を経て就職した後のサポートとして就労定着支援サービスが位置づけられます。この就労定着支援は、のちに詳述しますが、先行研究(朝日・島村, 2017)によると職場適応の支援、日常生活の支援、地域生活の支援が含まれています。



○ 質の高い就労定着支援とは

就労定着支援は、障害のある方の日々の「働く」を支え、安定した就労と生活を実現し、日々をウェルビーイングな状態に近づけ、職業人としての自立を支えるために働き始めから一定の期間を支援するものです。

働き始めると、職場だけでなく、日常生活や地域生活においても日々小さなことから大きなことまで様々なトラブルが生じます。また、トラブルでなくても、うまくいかないと感じる場面に遭遇することがあります。こうしたトラブルやうまくいかないということを全く生じないようにすることはできませんが、そのトラブルやうまくいかないという事柄をその都度解決し、より良い状態へ近づけていく取り組みの繰り返しが必要になります。就労定着支援における、質の高い支援とは、“本人”、“企業”、“支援者”それぞれが不安なく就労と生活を継続できている又は問題が生じても共に協働して解決できると相互に感じている状況を実現できている支援」として定義しています。

質の高い就労定着支援では、課題やうまくいかないという状況が発生させないのではなく、これらの課題を最小化し、こうした状況が発生しても、本人、企業、支援者が共に解決に向けて取り組める相互の信頼関係があり、課題の解決に向けて前向きに具体的に行動ができることが大切です。

